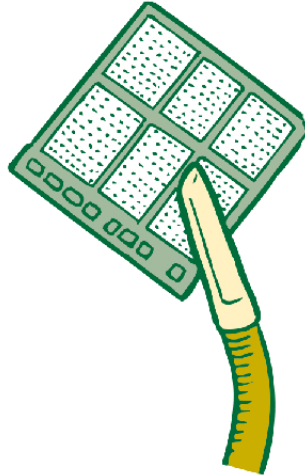
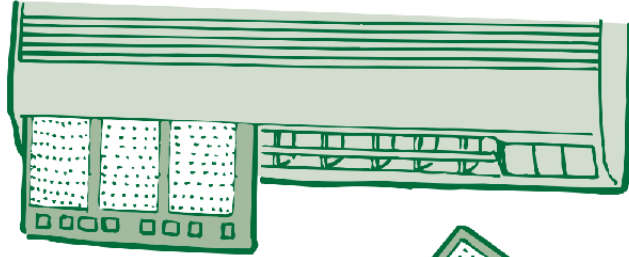


わが家の大そうじ 2

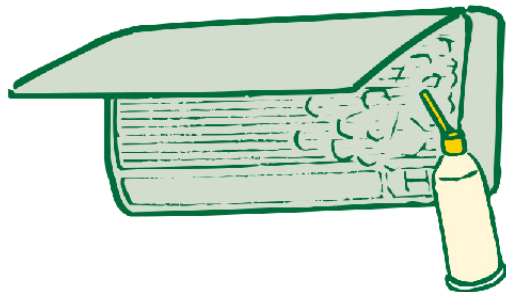


エアコンの汚れ

1 フィルターははずして掃除機でほこりを吸い取り、ホースで水を勢いよくかけて乾かせてください。



2 内部は、まずエアコンの下にビニール袋を当てて下に洗浄液がたれないようにしてから、エアコン洗浄クリーナーをスプレーしてください。脱臭効果もあります。



ここがポイント!

新聞紙を使ったおそうじ方法もあります。

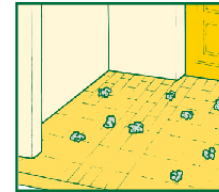
●窓ガラス

新聞紙を水か洗剤液で濡らしてしばらくガラスにくっつけておいてから、その新聞紙でこするときれいになります。そのあと布でからぶきしてください。



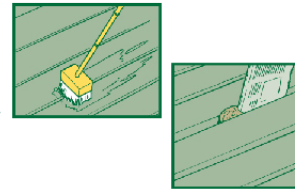
●玄関やたたき

水を浸み込ませた新聞紙を丸めて何ヶ所かにばらまき、それをほうきで転がしながらはいていくと、砂ほこりもたずになんかきれいにできます。



●ベランダの溝

いきなり水を流すとドロドロになってしまうので、まず新聞紙を当てて溝のゴミをあらかじめ取ってから水を勢いよく流し、デッキブラシなどでこすってください。



サービスのご案内



配達 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スパケアパック

●下記クレジットカードがご利用できます



☐はギフト券もご利用いただけます



制作発行/株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

わが家の大そうじ2

自分でやってみよう!



いつも年末になると家族全員で大そうじに精を出し、こんなに汚れてしまう前にそうじをしておけばよかったと後悔しますが、それよりちょっと考え方を考えてみませんか。大そうじはわが家をよく見直すいい機会なんです。大そうじをして初めて、修理しなければならない箇所が見つかったり、いろいろなものの構造がよく分かったりして結構面白いものなんだと。わが家がきれいになっていく様子を眺めながら、年末を過ごすのも、またいいものではないでしょうか。心まであらわれていきそうですし、すんだ後の快感はなにものにも替えがたいのがあります。「台所」については、当社ハウツーページNo.49「わが家の大そうじ1」をご覧ください。

Do it Yourself & Save

わが家の大そうじ 2

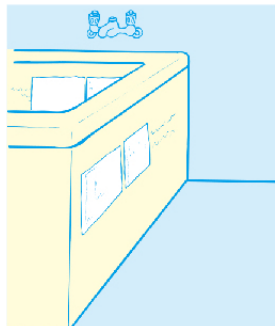
浴室

カビ取り

当社発行のハウツーペーパーNo.35「バス・トイレの汚れ落とし」をご覧ください。

浴槽の汚れ

全体はバス用洗剤で磨きますが、水位付近の汚れは人の脂分のためなかなか落ちないので、アルカリ性の洗剤(シンブルグリーン等)をティッシュに浸みこませて30分ぐらい当てておくと、取れやすくなります。また湯垢がこびりついている汚れは台所用の油汚れ用の洗剤をつけて磨くと、案外取れてしまうものです。



蛇口の汚れ

金属磨きを布につけて磨いてください。ピカピカになります。



トイレ

手洗い器の汚れ

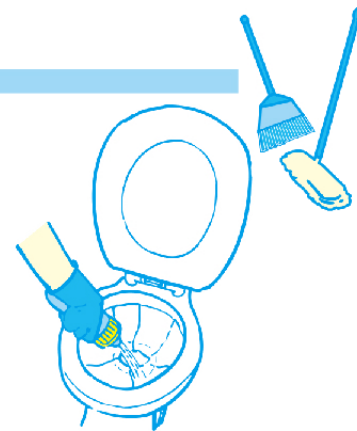
普通の汚れはクリームクレンザーで落としますが、それでは落ちない茶色の汚れはハイドロハイターを使ってください。40℃ぐらいのお湯を汚れにかけてすぐにハイドロハイターを振りかけます。15～20分ぐらいそのままにしてから布でこするときれいになります。輪じみは輪じみとりクリーナー、輪じみクレンザーをお使い下さい。

それでも落ちない汚れは、手洗い器に傷がつくのを覚悟して目の細かい(1000～1200番)の耐水サンドペーパーを適当な大きさに切り、水をつけて磨くと落ちます。洗面所の汚れも同じ要領で落としてください。



便器の汚れ

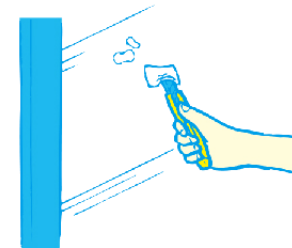
使って汚れたらすぐにトイレ用の紙のクリーナー(トイレクイックル等)で拭いておくと汚れませんが、汚れてしまったらティッシュペーパーにトイレ用洗剤をかけて20～30分ぐらい汚れにかぶせたまましておきます。その後トイレ用ブラシでこすって落としてください。それでも落ちない場合は、手洗い器の場合と同様、耐水サンドペーパーで落としてください。



窓の汚れ

ガラスクリーナーで落ちますが、柑橘類の皮を鍋で煮だした汁に新聞紙を浸して、それで窓ガラスを拭くと、ガラスの油分がきれいにとれます。

※窓についたシールやテープはカッターの刃をガラス面に沿って当てて削り落とす要領ではがしてください。テープの後がついた場合は灯油を浸みこませた布で強めに拭くと落ちます。



廊下・フロア

フローリングの床

ワックスをかけるか、床ニスを塗るかしておくと汚れはあまりつかなくなり、汚れてもさっと拭くだけできれいになります。(当社ハウツーペーパーNo.29「床用ニスを塗る」をご覧ください。)



カーペットの汚れとシミ

長く放置しておくと落ちなくなりますので、すぐに拭きとるようにしましょう。落ちなくなった汚れはカーペット用・布用強力クレンザーである程度取ることができます。



※フローリングや木の床のキズ

床の色に合ったクレヨンタイプの床のキズ補修剤をドライヤーで暖めてからキズに対して直角に塗りこんでください。

